

皮膚科学講座

Dermatology

教授	清水 忠道	Tadamichi Shimizu
准教授	牧野 輝彦	Teruhiko Makino
講師	三澤 恵	Megumi Mizawa
講師	松井恒太郎	Kotaro Matsui
助教	原 寛	Hiroshi Hara
助教	杉田 (旧姓 関) 友里	Yuri Sugita
助教	森 直哉	Naoya Mori
助教 (前)	鹿児山 浩	Ko Kagoyama
助教 (前)	井波智恵子	Chieko Inami
特命助教	吉久 陽子	Yoko Yoshihisa
技術専門職員	松永 憲治	Kenji Matsunaga

◆ 著 書

- 1) Rehman MU, Kondo T, Shimizu T. Ultraviolet-induced photoaging in the skin: the role of inflammatory cytokine, macrophage migration inhibitory factor. Emanuel G, editor. New York: Nova Science Publishers; 2015. Chapter 7, Skin aging and photoaging: Physiology, clinical aspects and emerging therapies; p. 165-80.
- 2) 清水忠道. 今日の診断指針. 第7版. 金澤一郎, 永井良三編. 東京: 医学書院; 2015. 先天性表皮水疱症; p. 1609-11.
- 3) 清水忠道. 今日の小児治療指針. 第16版. 大関武彦他編. 東京: 医学書院; 2015. 円形脱毛症, 抜毛癖; p. 843.
- 4) 吉久陽子, 清水忠道. 光老化科学の最前線. 前田憲寿監修. 東京: シーエムシー出版; 2015. 紫外線によって誘導される炎症性サイトカインによる真皮の変性; p. 38-44.
- 5) 井波智恵子, 三澤 恵, 清水忠道. EBM 皮膚疾患の治療 up-to-date. 宮地良樹編. 東京: 中外医学社; 2015. 皮膚疾患にエビデンスのある漢方薬は? ; p. 352-5.

◆ 原 著

- 1) Shimizu K*, Andoh T, Yoshihisa Y, Shimizu T. Histamine Released from Epidermal Keratinocytes Plays a Role in α -Melanocyte-Stimulating Hormone-Induced Itching in Mice. *Am J Pathol.* 2015 Nov; 185(11): 3003-10.
- 2) Yoshihisa Y, Rehman MU, Yamakoshi-Shibutani T, Shimizu T. In vitro effects of zinc on the cytokine production from peripheral blood mononuclear cells in patients with zinc allergy. *Springerplus.* 2015 Aug 8; 4: 404.
- 3) Nagata Y, Yoshihisa Y, Rehman MU, Matsunaga K, Kitaichi N, Shimizu T. Role of macrophage migration inhibitory factor (MIF) in pollen-induced allergic conjunctivitis and pollen dermatitis in mice. *PLoS One.* 2015 Feb 3; 10(2): e0115593.
- 4) 森 直哉, 三澤 恵, 原 寛, 清水教子, 清水忠道. 慢性放射線皮膚炎を母地に発生した基底細胞癌の1例. 加齢皮膚医学セミナー. 2015 ; 10 : 37-40.
- 5) 上田智恵子, 牧野輝彦, 渋谷高子, 清水忠道. 新潟県糸魚川市における日光角化症の有病率調査 (第2報). 加齢皮膚医学セミナー. 2015 ; 10 : 83-6.

◆ 症例報告

- 1) Matsui K, Makino T, Mizawa M, Hamashima T, Hanakawa H, Hatta N, Sasahara M, Shimizu T. Extramammary Paget's disease occurring in the context of Cowden syndrome: true association or mere coincidence?. *Eur J Dermatol.* 2015 Jan-Feb; 25(1): 89-91.
- 2) Mori N, Makino T, Mizawa M, Kagoyama K, Kanegane H, Sakaguchi H, Miyazono T, Shimizu T. Late presentation of X-linked dyskeratosis congenita with a missense mutation in codon 350 of the dyskerin protein. *Eur J Dermatol.* 2015 Jan-Feb; 25(1): 75-6.
- 3) Kagoyama K, Makino T, Ueda C, Takegami Y, Shimizu T. Detection of cytomegalovirus in the gastric ulcer of a patient with drug-induced hypersensitivity syndrome. *JAAD Case Rep.* 2015 Jun 17; 1(4): 215-8.
- 4) Makino T, Hara H, Mizawa M, Seki Y, Hayashi M, Ishii N, Hashimoto T, Shimizu T. Detection of IgG antibodies to desmoglein

3 and desmocollins 2 and 3 in mucoal dominant-type pemphigus vulgaris with severe pharyngalgia and hyperemia of the bulbar conjunctiva. *Eur J Dermatol.* 2015; 25(6): 619-20.

- 5) Mizawa M, Makino T, Nakamura T, Yamaguchi S, Taki H, Shimizu T. Exacerbation of symptoms in Blau syndrome/early-onset sarcoidosis following delivery. *Eur J Dermatol.* 2015; 25(6): 620-2.
- 6) 清水教子, 牧野輝彦, 乗杉 理, 清水忠道. Non-bullous neutrophilic dermatosis を初発症状とした全身性エリテマトーデス. *皮膚臨床.* 2015 Jan ; 57(1) : 53-6.

◆ 学会報告

- 1) Mizawa M, Makino T, Shibutani T, Shimizu K, Nakano H, Sawamura D, Shimizu T. Development of a mild phenotype of erythropoietic protoporphyria due to a splice site modulator IVS3-48C/C polymorphism in the *ferrochelatase* gene. 23rd World Congress of Dermatology; 2015 Jun 8-13; Vancouver.
- 2) Yoshihisa Y, Rehman MU, Yamakoshi-Shibutani T, Shimizu T. In vitro effects of zinc on the cytokine production from peripheral blood mononuclear cells in patients with zinc allergy. 23rd World Congress of Dermatology; 2015 Jun 8-13; Vancouver.
- 3) Seki Y, Makino T, Mizawa M, Shimizu T. A case of mugwort-mustard allergy syndrome due to broccoli. 23rd World Congress of Dermatology; 2015 Jun 8-13; Vancouver.
- 4) Yasuda C, Enomoto A, Ishiwatari S, Mor N, Matsunaga K, Yoshihisa Y, Shimizu T, Matsukuma S. Galectin-7 (Gal-7) and heat shock protein 27 (HSP27) in the stratum corneum as a biomarker for skin barrier condition and the local severity of atopic dermatitis. 23rd World Congress of Dermatology; 2015 Jun 8-13; Vancouver.
- 5) Shimizu K*, Andoh T, Yoshihisa Y, Shimizu T. Histamine released from epidermal keratinocytes plays a role in α -melanocyte-stimulating hormone-induced itching in mice (Concurrent oral session). 8th World Congress on Itch (WCI); 2015 Sep 27-29; Nara.
- 6) Yoshihisa Y, Rehman MU, Kondo T, Shimizu T. Effects of macrophage migration inhibitory factor on heat-induced apoptosis in keratinocytes. The 40th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology; 2015 Dec 11-13; Okayama.
- 7) Makino T, Mizawa M, Seki Y, Hayashi M, Shimizu T. Decreased filaggrin-2 expression in the epidermis in a case of pityriasis rotunda. The 40th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology; 2015 Dec 11-13; Okayama.
- 8) 清水忠道. 皮膚科医にとっての漢方薬とエビデンス. 和歌山皮膚科講演会 (特別講演); 2015 Jan 19; 和歌山.
- 9) 上田智恵子. キズの管理と創傷被覆材・外用剤の使い方卒後臨床研修イブニングセミナー (特別講演); 2015 Jan 22; 富山.
- 10) 三澤 恵. 桂枝茯苓丸のアトピー性皮膚炎に対する有効性. 桂枝茯苓丸 (加薏苡仁) 国際シンポジウム; 2015 Feb 8; 東京.
- 11) 牧野輝彦. アトピー性皮膚炎—最近の話題—. アレルギー週間講演会; 2015 Feb 15; 富山.
- 12) 清水教子, 牧野輝彦, 原 寛, 三澤 恵, 清水忠道. 多発転移を伴った Pigmented squamous cell carcinoma. 第 445 回日本皮膚科学会北陸地方会; 2015 Feb 22; 金沢.
- 13) 鹿児島浩, 牧野輝彦, 上田智恵子, 竹上與志昌, 清水忠道. サイトメガロウイルスの再活性化による多発消化管潰瘍を生じた薬剤性過敏症候群. 第 445 回日本皮膚科学会北陸地方会; 2015 Feb 22; 金沢.
- 14) 鹿児島浩. アカエイ刺傷の 1 例. 富山県皮膚科真菌症フォーラム学術講演会; 2015 Mar 19; 富山.
- 15) 牧野輝彦, 清水教子, 三澤 恵, 中野 創, 澤村大輔, 清水忠道. 新規 deletion mutation を検出した Hailey-Hailey 病の一家系. 第 377 回日本皮膚科学会新潟地方会; 2015 Apr 17; 新潟.
- 16) 清水忠道. 角層 MIF の炎症マーカーとしての有用性. 「角層バイオマーカーの新たな展望」(モーニングセミナー) 第 114 回日本皮膚科学会総会; 2015 May 29-31; 横浜.
- 17) 清水忠道. 皮膚科医にとっての漢方薬とエビデンス. 「皮膚科における漢方の役割」(モーニングセミナー) 第 114 回日本皮膚科学会総会; 2015 May 29-31; 横浜.
- 18) 牧野輝彦. 物理性蕁麻疹. 第 114 回日本皮膚科学会総会 (教育講演); 2015 May 29-31; 横浜.
- 19) 三澤 恵, 牧野輝彦, 中村友子, 山口智史, 清水忠道. BCG 接種が発症の契機であった Blau 症候群/若年発症サルコイドーシス. 第 114 回日本皮膚科総会; 2015 May 29-31; 横浜.
- 20) 鹿児島浩, 牧野輝彦, 上田智恵子, 竹上與志昌, 清水忠道. サイトメガロウイルスの再活性化による多発消化管潰瘍を生じた薬剤性過敏症候群. 第 114 回日本皮膚科学会総会; 2015 May 29-31; 横浜.
- 21) 吉久陽子, Mati Ur Rehman, 渋谷高子, 清水忠道. 亜鉛アレルギー診断における末梢血単核球サイトカイン測定の

- 有用性. 第 114 回日本皮膚科学会総会 ; 2015 May 29-31 ; 横浜.
- 22) 安田知永, 石渡潮路, 高橋美奈子, 森 直哉, 松永憲治, 吉久陽子, 松熊祥子, 清水忠道. 炎症性皮膚疾患における角層中 MIF 量の関係. 第 114 回日本皮膚科学会総会 ; 2015 May 29-31 ; 横浜.
- 23) 永田 寛, 石井文人, 丸田康夫, 大畑千佳, 牧野輝彦, 清水忠道, 橋本 隆, 名真眞武国. Duhring 疱疹状皮膚炎. 第 114 回日本皮膚科学会総会 ; 2015 May 29-31 ; 横浜.
- 24) 松井恒太郎, 若杉雅浩, 有嶋拓郎, 奥寺 敬, 藤田友嗣. 透析が著効した不凍液中毒が疑われる高カリウム血症の一例. 第 18 回日本臨床救急医学会総会・学術集会 ; 2015 Jun 4 ; 富山.
- 25) 牧野輝彦. 桂枝茯苓丸の慢性炎症性皮膚疾患における治療効果とその作用機序. 第 66 回日本東洋医学会学術総会(シンポジウム) ; 2015 Jun 12-14 ; 富山.
- 26) 井波智恵子, 三澤 恵, 清水忠道. 桂枝茯苓丸が奏効した Lichen aureus の 1 例. 第 66 回日本東洋医学会学術総会 ; 2015 Jun 12-14 ; 富山.
- 27) 関 友里, 牧野輝彦, 三澤 恵, 原 寛, 森 直哉, 清水忠道. 有棘細胞癌 (SCC) への進展と自然消褪を同一病変内に認めた Bowen 病における病理組織学的検討. 第 446 回日本皮膚科学会北陸地方会 ; 2015 Jun 28 ; 金沢.
- 28) 林 政雄, 牧野輝彦, 関 友里, 三澤 恵, 清水忠道. 背部に多発潰瘍を生じた深在性エリテマトーデスの 1 例. 第 446 回日本皮膚科学会北陸地方会 ; 2015 Jun 28 ; 金沢.
- 29) 清水教子, 牧野輝彦, 原 寛, 三澤 恵, 清水忠道. 多発転移を伴った Pigmented squamous cell carcinoma. 第 31 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 ; 2015 Jul 3-4 ; 大阪.
- 30) 関 友里, 牧野輝彦, 三澤 恵, 原 寛, 森 直哉, 清水忠道. 有棘細胞癌への進展と自然消褪を同一病変内に認めた Bowen 病における病理組織学的検討. 第 31 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 ; 2015 Jul 3-4 ; 大阪.
- 31) 清水忠道. 見逃しているかゆい疾患. 中信皮膚科医会学術講演会 (特別講演) ; 2015 Jul 16 ; 松本.
- 32) 三澤 恵, 牧野輝彦, 中野 創, 澤村大輔, 清水忠道. FECH 遺伝子解析による診断 6 年後に発症した骨髄性プロトポルフィリン症. 第 37 回日本光医学光生物学会 ; 2015 Jul 17-18 ; 宮崎.
- 33) 清水忠道. 印象に残る皮膚疾患. Dermatologic Clinical Conference in Toyama (特別講演) ; 2015 Jul 23 ; 富山.
- 34) 三澤 恵. 当院におけるウステキスマブの使用経験. Dermatologic Clinical Conference in Toyama ; 2015 Jul 23 ; 富山.
- 35) 三澤 恵. 夏のスキンケア. 富山県病院薬剤師会第 413 回学術講演会 (特別講演) ; 2015 Jul 25 ; 富山.
- 36) 原 寛, 牧野輝彦, 林 政雄, 関 友里, 三澤 恵, 清水忠道. 早期結腸癌の関与が示唆された circinate pustular psoriasis の 1 例. 第 447 回日本皮膚科学会北陸地方会 ; 2015 Sep 6 ; 富山.
- 37) 森 直哉, 松井恒太郎, 関 友里, 牧野輝彦, 清水忠道. 二次性乳房外 Paget 病を伴った肛門管癌の 2 例. 第 447 回日本皮膚科学会北陸地方会 ; 2015 Sep 6 ; 富山.
- 38) 鹿児島山浩, 井波智恵子, 竹上與志昌, 牧野輝彦, 清水忠道. 高齢者に発症した generalized pustular psoriasis. 第 11 回加齢皮膚医学研究会 ; 2015 Sep 6-7 ; 名古屋.
- 39) 清水忠道. 知っておきたい小児の皮膚疾患. 第 7 回上越皮膚科セミナー (特別講演) ; 2015 Sep 12 ; 上越.
- 40) 三澤 恵. 薬剤アレルギーの基本的な知識 (講演). 第 44 回医療安全講習会 ; 2015 Sep 30 ; 富山.
- 41) 清水忠道. 蕁麻疹の不思議. 新潟皮膚アレルギー疾患講演会 (特別講演) ; 2015 Oct 10 ; 新潟.
- 42) 清水忠道. 見逃しているかゆい疾患—蕁麻疹患者の見逃しを含めて—. 第 10 回アレルギー・膠原病治療研究会 (特別講演) ; 2015 Oct 15 ; 熊本.
- 43) 三澤 恵. ブラウ症候群と BCG. 第 66 回日本皮膚科学会中部支部 (シンポジウム) ; 2015 Oct 31-Nov 1 ; 神戸.
- 44) 清水教子, 牧野輝彦, 関 友里, 清水忠道. 腹直筋血腫を伴った先天性血管拡張性大理石様皮斑. 第 66 回日本皮膚科学会中部支部学術大会 ; 2015 Oct 31-Nov 1 ; 神戸.
- 45) 原 寛, 牧野輝彦, 林 政雄, 関 友里, 三澤 恵, 清水忠道. 早期結腸癌の関与が示唆された circinate pustular psoriasis の 1 例. 第 66 回日本皮膚科学会中部支部学術大会 ; 2015 Oct 31-Nov 1 ; 神戸.
- 46) 林 政雄, 牧野輝彦, 関 友里, 三澤 恵, 清水忠道. 背部に多発潰瘍を生じた深在性エリテマトーデスの 1 例. 第 66 回日本皮膚科学会中部支部学術大会 ; 2015 Oct 31-Nov 1 ; 神戸.
- 47) 柳原 誠, 花川博義, 牧野輝彦, 清水忠道, 望月 隆. 神経の変化を伴った lichen aureus の 2 例—Schwann 細胞内には autophagic vacuole が充満していた—. 第 66 回日本皮膚科学会中部支部学術大会 ; 2015 Oct 31-Nov 1 ; 神戸.
- 48) 松井恒太郎, 牧野輝彦, 清水忠道, 石井貴之. グリチルリチン製剤により偽アルドステロン症を生じた 1 例. 第 66 回日本皮膚科学会中部支部学術大会 ; 2015 Nov 1 ; 神戸.
- 49) 三澤 恵. 乾癬—最近の話題—. 皮膚の日講演会 ; 2015 Nov 8 ; 富山.
- 50) 新村哲夫, 松永憲治, 清水教子, 清水忠道, 立瀬剛志, 山田正明, 関根道和, 鏡森定信. 海洋深層水および由来水

の足浴効果の検討. 第 19 回海洋深層水利用学会全国大会 ; 2015 Nov 12-13 ; 沖縄.

- 51) 清水教子, 牧野輝彦, 清水忠道. ビタミン®による蕁疹. 第 45 回日本皮膚接触皮膚炎・アレルギー学会総会 ; 2015 Nov 20-22 ; 松江.
- 52) 吉久陽子, 安東嗣修, 松永憲治, 眞岡孝至, 清水忠道. Astaxanthin のアトピー性皮膚炎に対する炎症抑制効果の検討. 第 45 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会 ; 2015 Nov 20-22 ; 松江.
- 53) 原 寛, 牧野輝彦, 林 政雄, 関 友里, 三澤 恵, 清水忠道, 石井文人, 橋本 隆. 抗 Dsg3 抗体と抗 Dsc2、3 抗体を検出した粘膜優位型尋常性天疱瘡. 第 448 回日本皮膚科学会北陸地方会 ; 2015 Dec 13 ; 福井.
- 54) 鹿見山浩, 林 政雄, 関 友里, 原 寛, 三澤 恵, 牧野輝彦, 清水忠道. Streptococcus agalactiae Group B を起炎菌とした習慣性丹毒の 1 例. 第 448 回日本皮膚科学会北陸地方会 ; 2015 Dec 13 ; 福井.

◆ その他

- 1) 清水忠道, 松永憲治, 横山義之ほか, inventors ; 国立大学法人富山大学, assignee. 機能性シート及びその製造方法. 特許第 5737607 号. 2015 May 1.
- 2) 清水忠道. 「旋尾線虫幼虫移行症」について. 富山市医師会報. 2015 Jun ; 531 : 5.
- 3) 清水忠道. 進化続けるレーザー治療. 富山病院最前線 25. 富山新聞. 2015 Jul 7.
- 4) 清水忠道. 知って得する皮膚科漢方実践編 皮膚科医にとっての漢方薬とエビデンス「苔癬化病変を伴うアトピー性皮膚炎の改善に効果が期待できる桂枝茯苓丸」第 114 回日本皮膚科学会総会 モーニングセミナー. Kampo Square. 2015 Jul ; 12 No.13 : 15-6.
- 5) 牧野輝彦. 遺伝がんのリスク検査. 富山新聞. 2015 May 28.
- 6) 牧野輝彦. 第 109 回医師国家試験問題解説. 国試対策問題編集委員会編集. 東京 : メディックメディア ; 2015.
- 7) 松井恒太郎. JATEC インストラクター. 2015 Mar 15-16, Apr 18-19, May 9.